



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和7年10月1日(水)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

37

体育祭開会式、第77回八高祭の総合閉会式で、次の話をしました。

令和7年度 体育祭開会式 挨拶(令和7年10月1日)

今日もまた、皆さんの「気づく力」に期待を込めてここに立っています。みんな楽しめているかな?調子がよくないのに無理をしている人はいないかな?そのような、身の回りの小さなこと、場合によっては目に見えない何かにも気づく力が大切です。自分のことでいっぱいになるのは当然なのかもしれませんが、この、見えないものに気づく力があってこそ、仲間たちと共有しているこの時間と空間に、今後数十年も皆さんの心のエネルギーとなってくれる、なにものにも代えがたい価値を与えてくれます。

一日ご安全に。そして、がんばれ、自慢の八高生たち!!

以上、挨拶とします。

令和7年度 八高祭閉会式 講評(令和7年10月1日)

文化祭と体育祭、あわせて三日間の第77回八高祭が閉幕します。文化祭では、演劇、展示に加えて、新たに模擬店が本格的に始まり、有志による発表も体育館のステージを使って実施するなど、昨年度までの文化祭とは違った、新しい八高の姿を皆さんがしっかりと実現してみせてくれました。

「八高万博」のキャッチフレーズにふさわしい、色とりどり、多種多様な「思い」や「こころ」が形になり、「進取の気風」あふれる文化祭でした。

本日の体育祭もまた、八高生のエネルギーが遺憾なく発揮されました。「身の回りで起こることを、なにごとも前向きに全力で楽しむ」これこそが、八高生が長く引き継いできた大切な姿勢です。今後の学校生活の糧となる、貴重な時間と空間を共有できたことにこころから感謝をこめて講評とします。